



ベラルーシ共和国ゴメリ州ドウヂチ村。チェルノブイリ原発事故で汚染された小さな村。皮肉にも、放射能に汚染された村は、原子力の恩恵を受けない生活をつづける村だ。

政府からの立ち退き要請で、村は地図から消えてしまった。村の3ヶ所の入口はゲートで遮断され、外部の人間は許可証がないと入れない。それでも故郷を離れず、汚染された村に残る6家族がいる。

ユートピアのように美しい村。四季が移ろう。麦やじゃがいもを育て、きのこを探り、詩を口ずさむ。美しく厳しい自然とともに、大地に根ざして明るくたくましく生きる彼らの暮らしは、豊かさとは何かということを私たちに教えてくれる。

#### 本橋 成一 / 映像作家・写真家

1940年東京都生まれ。自由学園卒業。写真集「炭鉱〈ヤマ〉」で第五回太陽賞受賞。以後、サーカス、上野駅、築地魚河岸、大衆芸能など、市井の人々の生きざまを撮り続ける。91年からチェルノブイリ原発とその被災地ベラルーシに通い始め、95年「無限抱擁」で日本写真協会年度賞、写真の会賞受賞。98年「ナージャの村」で第17回土門拳賞受賞。監督として映画『ナージャの村』『アレクセイと泉』を手掛け、国内外で高い評価を得る。

舞台となる〈泉〉は、チェルノブイリ原発事故で被災した、ベラルーシ共和国東南部にある小さな村ブジシチェにある。学校跡からも、畑からも、森からも、採集されるキノコからも放射能が検出されるが、不思議なことに、この〈泉〉からは検出されない。

「なぜって？それは百年前の水だからさ」と、村人たちは自慢そうに答える。

この百年、人間は何の豊かさを求めてきたのだろう。《水の惑星 = 地球》の強い意志のようにこんこんと湧く〈泉〉は、私たちに「本当の豊かさとは何か」を静謐に語りかける。



< ナージャの村 6/30・アレクセイと泉 7/22 カピオホール・全席自由 >  
 一般 前売券 1200円 / 当日券 1400円 ★2日間通し券 2200円  
 ＊大学生・大学院生・障がい者 800円 (WEB・電話予約のみ扱い)  
 ＊高校生以下 500円 (WEB・電話予約のみ扱い)  
 < 販売場所 > カピオホール・ノバホール・友朋堂 (吾妻店)

**本橋成一の写真展と絵本作家スズキコージの展覧会**  
**『BEFORE&AFTER 3・11』** 茨城県つくば美術館  
 2012年7月18日(水)～7月22日(日)



#### ■関連イベント / ライブペインティング&コンサート

7月19日(木) 19:00 つくばカピオホール  
 スズキコージ&渋さチビズ劇場 / ゲスト・川下直広 (sax) / 七尾旅人 (vo.g)  
**本橋成一 x スズキコージ「No More Atomic Energy! ゲンパツイライナイ展」**  
 7月1日から22日まで、カフェ、ギャラリーなどで展示。

<http://before-after3-11.jimdo.com/>

主催：本橋成一&スズキコージ展・50人委員会 後援：脱原発ネットワーク茨城  
 協力：千年先の未来・ツクろーかる / テレジンを語る会 いばらき  
 問合せ：090-5067-6020 (松岡) 090-8580-1288 (野口) akuaku@midi.co.jp